



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和7年1月31日(金) No. 10

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

URL : https:// tokushi.miyakyo-u.ac.jp

2025年、巳年は古い皮を脱ぎ捨て、新しい自分・新しい学校を目指す！

今年巳年です。「へび」は、脱皮を繰り返して成長することや、生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴し、縁起がよい生き物とされることもあります。また、今年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。「乙巳」の「乙」は、植物の生長に例えると、「種子の殻を突き破り、芽を出す状態」を意味するそうです。

巳年の2025年は、へびが脱皮を繰り返して成長するように、児童生徒が新しい経験や学びを通じて自分を成長させる年、また、「乙」のように、たくさんのFUTOKUの種が殻を突き破り芽を出す年、となることを目指して、教職員一同、尽力したいと思います。保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

思いを込めて頑張った努力が魅力となって広がる

～中学部、高等部作業製品販売会～

1月16日(木)と1月22日(水)に、宮城教育大学萩朋会館で中学部と高等部の作業製品販売会を行いました。販売会のねらいは、生徒たちが「買ってくれる人のために」と心を込めて制作した製品を販売する喜びを体験し、作業活動への努力を認めてもらうことで、勤労意欲を高め、将来の自立につなげることです。また、学校外での販売活動を通じて、本校の生徒や魅力を広く知ってもらうことも目指しています。今年も本校保護者を始め、附属校PTAや大学生、大学職員等、多くの方が販売スペースを訪れ、製品の出来映えや生徒たちのコミュニケーション力に感心し、称賛の声を寄せてくださいました。



SDGsの視点を取り入れた製品を開発(高等部)

雪と友達と共に ～冬の季節を味わう～

1月23日(木)、冬の季節の特徴を知り、四季の変化を感じ取ることをねらいとして、小学部の児童が泉ヶ岳スキー場でそり滑りをダイナミックに楽しみました。冬の寒さや雪の冷たさを感じながら、風を切る爽快感を味わいました。そり滑りの後は、友達と一緒に食べるお弁当のお

いしさに笑顔を見せたり、帰りのバスでの寝顔に満足そうな表情を浮かべたり、よく遊び、よく学んだ一日となりました。



(文責 菅原 しのぶ)